

## 日本における「来談者中心療法」及び「体験過程療法」 に関する文献リスト (1980~1984)

### A Bibliography on the Person-Centered and Experiential Psychotherapy in Japan (1980-1984)

坂 中 正 義

(Masayoshi SAKANAKA)

福岡教育大学心理科

(1998年8月27日受理)

#### 要 約

本論文は、1980年代前半(1980~1984)に発表された、わが国における「来談者中心療法」関連の文献リストである。文献は、非指示的カウンセリング、来談者中心療法、体験過程療法、パーソン・センタード・アプローチ、ベーシック・エンカウンター・グループ、フォーカシング、積極的傾聴法等に関するものである。収録は、I. 単行本、II. 研究論文、III. 学会発表、IV. 翻訳、V. 海外文献紹介、VI. 書評のジャンルに分けて行っている。

**キーワード：**来談者中心療法、体験過程療法、パーソン・センタード・アプローチ、ベーシック・エンカウンター・グループ、フォーカシング、文献リスト

#### はじめに

筆者は、わが国における「来談者中心療法」の研究および実践を振り返り、今後の発展のための課題探索の1つの手がかりを提供するため、次のような文献リストを作成した。

1. 坂中正義 1998 日本における「来談者中心療法」及び「体験過程療法」に関する文献リスト — ロジャース選書及び全集 — 九州大学心理臨床研究, 17, 113-121.
2. 坂中正義 1998 日本における「来談者中心療法」及び「体験過程療法」に関する文献リスト (1969) 福岡教育大学「心理教育相談研究」, 2, 9-31.
3. 坂中正義 1998 日本における「来談者中心療法」及び「体験過程療法」に関する文献リスト (1970~1974) 福岡教育大学「教育実践研究」, 6, 81-88.
4. 坂中正義 1998 日本における「来談者中心療法」及び「体験過程療法」に関する文献リスト (1975~1979) 福岡教育大学「教育実践研究」, 6, 89-98.

本論文では、これらの論文の続編として、1980年代前半(1980~1984)の日本における「来談者中心療法」関連の文献リストを作成する。

#### 方 法

1980年から1984年に発行された「来談者中心療法」関連の以下のようなキーワードが論じられている文献が収集された。

非指示的カウンセリング、来談者中心療法、体験過程療法、パーソン・センタード・アプローチ、ベーシック・エンカウンター・グループ、フォーカシング、積極的傾聴法等。

文献は、単行本、研究論文、学会発表、翻訳、海外文献紹介、書評のジャンルに分けて収録した。

文献は、できるだけ手広く収集を努めたが、不備も予想される。それらについては、指摘をまって、今後の文献リストシリーズの中で、訂正、追加、補足したい。

I. 単行本<sup>注1</sup>

1. 安部恒久 1984 教育へのグループ・アプローチの展開—臨床集団心理学の立場から— 翔門会編「現代心理学への提言」九州大学出版会, 299-312.
2. 有田もと子 1981 遊戯療法 小川捷之編「臨床心理用語辞典 2」至文堂, 381-382.
3. 遠藤 勉 1982 カウンセリングと人間尊重—生きる心構えの育成と精神機能の強化— 大阪心理出版
4. Gendlin, E. T. (村瀬孝雄訳) 1981 体験過程と心理療法 ナツメ社<sup>注2</sup>
5. 浜田華子 1981 自己概念 小川捷之編「臨床心理用語辞典 1」至文堂, 139.
6. 浜田華子 1981 準拠枠 小川捷之編「臨床心理用語辞典 1」至文堂, 158.
7. 浜田華子 1981 体験過程 小川捷之編「臨床心理用語辞典 1」至文堂, 206-207.
8. 浜田華子 1981 過程尺度 小川捷之編「臨床心理用語辞典 2」至文堂, 58-59.
9. 浜田華子 1981 グロリアー三人のセラピストとの面接例— 小川捷之編「臨床心理用語辞典 2」至文堂, 92-93.
10. 浜田華子 1981 ストランズ 小川捷之編「臨床心理用語辞典 2」至文堂, 203.
11. 浜田華子 1981 無条件の積極的関心・受容 小川捷之編「臨床心理用語辞典 2」至文堂, 365.
12. 樋口勝也 1981 ジェンドリン 小川捷之編「臨床心理用語辞典 1」至文堂, 123.
13. 樋口勝也 1981 エンカウンター・グループ 小川捷之編「臨床心理用語辞典 2」至文堂, 41.
14. 樋口勝也 1981 焦点づけの技法 小川捷之編「臨床心理用語辞典 2」至文堂, 168.
15. 樋口勝也 1981 ファシリテーター 小川捷之編「臨床心理用語辞典 2」至文堂, 334.
16. 樋口勝也 1981 ラホイヤ・プログラム 小川捷之編「臨床心理用語辞典 2」至文堂, 385.
17. 樋口勝也 1981 マラソン・グループ 小川捷之編「臨床心理用語辞典 2」至文堂, 359.
18. 堀 淑昭 1981 共感的理解 小川捷之編「臨床心理用語辞典 2」至文堂, 78.
19. 堀 淑昭 1981 純粹さ 小川捷之編「臨床心理用語辞典 2」至文堂, 162.
20. 堀 淑昭 1981 治療過程 小川捷之編「臨床心理用語辞典 2」至文堂, 249.
21. 池見西次郎・第子丸泰仙 1981 セルフ・コントロールの医学と坐禅 「セルフ・コントロールと禅」日本放送出版協会, II-6, 192-220.
22. 石原文里 1984 波紋になあれ 千葉県カウンセリング研究会
23. 伊東 博 1980 新訂・カウンセリング 誠信書房
  - I あなたはカウンセラーになれるか
  - II 誰でも問題をもっている
  - III カウンセリングの誤解と問題点
  - IV カウンセリングの本質
  - V カウンセリングの発達
  - VI 相談室をはじめるには
  - VII カウンセリングの過程
  - VIII カウンセリングと人間関係
  - IX カウンセラーになるには
24. 伊東 博 1981 ロージャズ 小川捷之編「臨床心理用語辞典 1」至文堂, 378-379.
25. 伊東 博 1981 一致 小川捷之編「臨床心理用語辞典 2」至文堂, 23.
26. 伊東 博 1981 クライアント中心療法 小川捷之編「臨床心理用語辞典 2」至文堂, 89.
27. 伊東 博 1981 グループ・カウンセリング 小川捷之編「臨床心理用語辞典 2」至文堂, 90.
28. 伊藤義美 1980 生徒指導の実例 久世敏雄・大崎正夫・長田雅喜編「入門教育心理学」福村出版, 149-150.
29. 岩村 聡 1981 学校保健とグループ・アプローチ 品川浩三他編「子どもの精神保健と相談活動」東山書房, 88-89.
30. 河合隼雄 1983 人格論における対極性 飯田 真・笠原 嘉・河合隼雄・佐治守夫・中井久夫編「パーソナリティ (精神の科学第2巻)」岩波書店, VIII, 277-307.
31. 岸田 博・中村喜久子・楡木満生 1984 カウンセリングの学び方 道和尚院
32. 近藤邦夫 1981 感情移入 梅津八三・相良守次・宮城音弥・依田 新監修「新版 心理学事典」平凡社, 126-127.
33. 近藤邦夫 1984 大学生の成長におけるグルー

注1 翻訳されたものであるが、編者が日本人である場合、単行本に分類した。

注2 1966年に牧書店から出版された書籍の新装版。目次は初版を掲載した文献リストを参照すること。

- ブ的接近の意義 村瀬孝雄編「青年期危機の心理臨床 (講座 心理臨床の実際 8)」福村出版、第6章、139-166.
34. 小谷英文 1981 カウンセラーのための応答構成—訓練プログラム— 日本・精神技術研究所
- 第1章 応答構成訓練: その意味とねらい  
第2章 訓練の方法と手続き  
第3章 訓練材料  
第4章 評価と次のステップ
35. 光元和憲 1981 ディプス 小川捷之編「臨床心理用語辞典2」至文堂、275-276.
36. 宮前 理 1981 自己概念 小川捷之編「臨床心理用語辞典1」至文堂、137.
37. 水島恵一 1981 自己実現 梅津八三・相良守次・宮城音弥・依田 新監修「新版 心理学事典」平凡社、310-311.
38. 村尾泰弘 1981 エンパシー 小川捷之編「臨床心理用語辞典1」至文堂、50.
39. 村瀬孝雄・野村東助・山本和郎編 1984 心理臨床の探究—ロジャーズからの出立— 有斐閣
- I. 原点としての「来談者中心」
- 第1章 「来談者中心療法」との出会い (村瀬孝雄)  
第2章 いかに為すべきか、いかにあるべきか: ロジャーズの人間観について (村瀬孝雄)
- II. 精神医療と心理臨床
- 第3章 社会復帰活動のなかの心理療法 (越智浩二郎)  
第4章 精神衛生センターにおける心理臨床 (池田光幸)  
第5章 ハーフウェイ・ハウスの現状と心理臨床 (穂積 登)  
第6章 精神病院における心理臨床家の役割 (木寺静代・吉田克子・四方耀子)
- III. 学校コミュニティと心理臨床
- 第7章 学校教育相談の位置づけと方向 (近藤邦夫)  
第8章 中学・高校におけるカウンセリング (保原三代子)  
第9章 大学コミュニティと心理的援助 (林 仁忠)  
第10章 青年の安定と探究そして心理療法 (無藤清子)  
第11章 地域の中の子どもの発達と教育相談室 (鵜養美昭)
- IV. 自閉児の理解とその援助
- 第12章 競争行動からみた自閉的障害 (野村東助)  
第13章 自閉症と「受容」(片倉信夫)  
第14章 「自閉症児」と「がっこの会」(渡部 淳)
- V. 心理臨床の新しい展開
- 第15章 心理療法におけるセラピストの条件 (飯長喜一郎)  
第16章 ケース研究: ある女性の人生遍歴—一個人とグループのコンパインド・セラピー (佐治守夫)  
第17章 コミュニティにおける心理臨床家—臨床心理の独自の領域を求めて— (山本和郎)  
第18章 心理臨床とは何か: 変動の中の治療者—日本臨床心理学会の改革運動の経緯をめぐって— (渡部 淳)
40. 村山正治 1980 エンカウンター・グループ 上里一郎編著「心理療法入門」福村出版、117-159.
41. 村山正治 1983 ヒューマニスティック・サイコロジ 飯田 真・笠原 嘉・河合隼雄・佐治守夫・中井久夫編「パーソナリティ (精神の科学第2巻)」岩波書店、VII, 241-275.
42. 村山正治・増井武士・池見 陽・大田民雄・吉良安之・茂田みちえ 1984 フォーカシングの理論と実際 福村出版
- 第I部 理論篇
- 第1章 体験過程療法の理論  
第2章 フォーカシングの理論的枠組  
第3章 心理療法におけるフォーカシング
- 第II部 実践篇
- 第4章 ジェンドリン法  
第5章 ヒンターコップ法  
第6章 ヘンドリックス法  
第7章 集団法
- 第III部 臨床篇
- 第8章 臨床場面におけるフォーカシング  
第9章 諸方法との組み合わせ
- 第IV部 事例篇
- 第10章 間をつくることに力点を置いた事例  
第11章 分裂病者に対するフォーカシング適用の事例
- 第V部 フォーカシングとコミュニティ
- 第12章 福岡人間関係研究会  
第13章 学校臨床への展開
- 第VI部 展望

- 第14章 わが国におけるフォーカシング研究の歩みと今後の展望
- 第15章 最近のフォーカシングトレーニング
- 第16章 ジーン・ジェンドリンとの出会い
- 第17章 わが国におけるフォーカシング文献展望
43. 無藤清子 1984 来談者中心療法的接近 村瀬孝雄編「青年期危機の心理臨床（講座 心理臨床の実践8）」福村出版，第1章，11-41.
44. 永松正昭 1981 ヒューマニスティック・サイコロジー 小川捷之編「臨床心理用語辞典1」至文堂，288.
45. 日本・精神技術研究所編 1983 話し合いで拓く自己発見法—自分をより深く知るために—マネジメント社
- 第1章 豊かに悩もう
- 第2章 PCA ウィークエンドに集まる人びと
- 第3章 合宿PCA ウィークエンド
- 第4章 スモール・グループの話し合い
- 第5章 メッセージ—PCA ウィークエンドからの呼びかけ
- 第6章 PCA ウィークエンド—その意味と課題
- 第7章 PCA 活動の歴史と展望
46. 西光義敏 1984 暮らしの中のカウンセリング 有斐閣
47. 野島一彦 1982 グループ・アプローチ 岡堂哲雄編「社会心理用語事典」至文堂，86-87.
48. 越智浩二郎 1982 自己実現—自分が感じられない人のために—ナツメ社
49. 大須賀克己 1983 心を開いて生きよ—カウンセリングによる自己啓発—マネジメント社
50. 小柳晴生 1980 エンカウンター・グループ 小林利宣編「教育・臨床心理学辞典」北大路書房，42.
51. 尾崎 勝・両 君子編 1984 カウンセリング・マインド 教育出版
52. 佐治守夫・村上英治・福井康之編 1981 グループ・アプローチの展開 誠信書房
- 第I部 グループ・アプローチの過程
- 第1章 グループ発展過程とグループ構成
- 第2章 集中的グループ経験における非言語的コミュニケーションと着席行動
- 第II部 グループ・アプローチの効果
- 第3章 グループ効果に対する社会心理学的接近—グループ体験のもつ人格—社会間の適応促進的機能をめぐって
- 第4章 学生グループ参加体験の特質
- 第III部 グループ・アプローチの実践
- 第5章 自己再発見グループの展開—一名大における3年間の試み—
- 第6章 体験学習による授業の試み—エンカウンター・グループ・プログラム
- 第7章 人格成熟促進のための授業として試みたグループ体験学習の検討
- 第IV部 グループ・アプローチの事例
- 第8章 エンカウンター・グループにおける参加学生の行動化促進と自立への援助
- 第9章 エンカウンター・グループ多数回参加者としての自己分析—グループの多数回参加は個人の成長を促すか？—
- 第V部 座談会 第2～5回教官エンカウンター・グループ
53. 佐治守夫 1981 カウンセリング 梅津八三・相良守次・宮城音弥・依田 新監修「新版 心理学事典」平凡社，74-79.
54. 佐治守夫 1981 心理療法 梅津八三・相良守次・宮城音弥・依田 新監修「新版 心理学事典」平凡社，446-450.
55. 佐治守夫 1984 クライアント中心療法 新福尚武編「精神医学大事典」講談社，200.
56. 佐治守夫 1983 概説 飯田 真・笠原 嘉・河合隼雄・佐治守夫・中井久夫編「パーソナリティ（精神の科学第2巻）」岩波書店，I，1-53.
57. 佐治守夫・飯長喜一郎編 1983 ロジャーズクライアント中心療法—カウンセリングの核心を学ぶ—有斐閣
- 第1章 ロジャーズの生涯と思想（飯長喜一郎）
- 第2章 非指示的療法（渡辺孝憲）
- 第3章 クライアント中心療法（横溝亮一）
- 第4章 ロジャーズのパーソナリティ理論（鶴養美昭）
- 第5章 クライアント中心療法の研究（佐々木正宏）
- 第6章 エンカウンター・グループとPCA（無藤清子）
- 第7章 クライアント中心療法の理論的・実践的な展開（佐治守夫）
58. 澤田秀一 1982 人間学的心理学と来談者中心療法 「カウンセリングへの歩み」豊橋カウンセリング研究所.
59. 関 計夫 1982 感受性訓練とエンカウンター・グループ 「生と死の心理学」慶応通信，121-139.
60. 下田節夫 1980 小集団の力動と効果—治療

- 的小集団の実際— 逸見武光編「社会における精神衛生」医学書院, 15-25.
61. 篠原睦治・山下恒男 1980 エンカウンター・グループの現状 (1970年代) 肥田野直編集代表「現代心理学の動向 (1946~1980)」川島書店, 186-188.
  62. 外林大作・辻 正三他編 1981 カウンセリング「心理学辞典」誠信書房, 57.
  63. 外林大作・辻 正三他編 1981 クライエント「心理学辞典」誠信書房, 112.
  64. 外林大作・辻 正三他編 1981 共感「心理学辞典」誠信書房, 102.
  65. 外林大作・辻 正三他編 1981 自己一貫性「心理学辞典」誠信書房, 175.
  66. 外林大作・辻 正三他編 1981 自己実現「心理学辞典」誠信書房, 177.
  67. 外林大作・辻 正三他編 1981 心理治療「心理学辞典」誠信書房, 244.
  68. 外林大作・辻 正三他編 1981 人間性心理学「心理学辞典」誠信書房, 352.
  69. 外林大作・辻 正三他編 1981 非指示的カウンセリング「心理学辞典」誠信書房, 377.
  70. 外林大作・辻 正三他編 1981 非指示療法「心理学辞典」誠信書房, 377.
  71. 外林大作・辻 正三他編 1981 来談者中心カウンセリング「心理学辞典」誠信書房, 449.
  72. 外林大作・辻 正三他編 1981 遊戯療法「心理学辞典」誠信書房, 441.
  73. 外林大作・辻 正三他編 1981 ロージャズ「心理学辞典」誠信書房, 586.
  74. 田畑 治 1982 カウンセリング実習入門 新曜社
    - 1章 カウンセリング実習へのオリエンテーション
    - 2章 カウンセリングのイメージ
    - 3章 対人関係の経験
    - 4章 クライエントの心の世界
    - 5章 カウンセリングの実例
    - 6章 カウンセリングにおける基本的技法
    - 7章 ミニ試行カウンセリングのすすめ
    - 8章 カウンセリング過程での諸問題
  75. 田畑 治 1984 来談者中心カウンセリング 内山喜久雄・高野清純・田畑 治編「カウンセリング (講座サイコセラピー第1巻)」日本文化科学社.
  76. 都留春夫 1981 集団療法 梅津八三・相良守次・宮城音弥・依田 新監修「新版 心理学事典」平凡社, 367-368.
  77. 都留春夫 1983 スモール・グループ経験に

- 及ぼすリーダーの影響 心理臨床ケース研究 1, 誠信書房, 3-21.
78. 氏原 寛 1980 カリフォルニアの異邦人—ラホイヤのカウンセリングワークショップに参加して「心理臨床の実際」創元社, 79-101.
  79. 山中康裕 1981 遊戯療法 梅津八三・相良守次・宮城音弥・依田 新監修「新版 心理学事典」平凡社, 797-798.

## II. 研究論文

1. 阿部啓子 1980 エンカウンター・グループにおける参加者特性と体験内容との関係 九州大学教育学部研究生論文
2. 阿部啓子 1981 エンカウンター・グループにおける人格変化の構造—Personal Orientation Inventory のクラスター分析を中心に— 九州大学教育学部研究生論文
3. 阿部啓子 1981 第2回グループ臨床カンファレンス報告 福岡人間関係研究会「エンカウンター通信」, 107, 2-5.
4. 阿部啓子 1983 改変 Personal Orientation Inventory からみたエンカウンター・グループの効果—効果測定尺度の作成にむけて 九州大学大学院教育学研究科修士論文
5. 安部恒久 1980 第1回グループ臨床カンファレンスを終えて 福岡人間関係研究会「エンカウンター通信」, 97, 2-6.
6. 安部恒久 1981 教育へのグループ・アプローチの展開 中村学園研究紀要, 14, 1-11.
7. 安部恒久 1982 エンカウンターグループにおけるファシリテーターに関する研究 中村学園研究紀要, 15, 1-15.
8. 安部恒久 1982 私のラ・ホイヤ・プログラム参加体験 九州大学心理臨床研究, 1, 97-112.
9. 安部恒久 1982 エンカウンター・グループのファシリテーターに強調される行動 福岡人間関係研究会「エンカウンター通信」, 120, 1-3.
10. 安部恒久 1984 青年期仲間集団のファシリテーターに関する一考察 心理臨床学研究, 1 (2), 63-72.
11. 安部恒久 1984 登校拒否児を持つ母親に対するグループ・アプローチ 人間性心理学研究, 2, 110-120.
12. 愛知教育大学保健管理センター編 1980 第2回自己との出会いのためのグループ合宿報告書

13. 愛知教育大学保健管理センター編 1982 第3回自己との出会いのためのグループ合宿報告書
14. 愛知教育大学保健管理センター編 1983 第4回自己との出会いのためのグループ合宿報告書
15. 江頭幸晴 1982 グループ(九重)の感想—生まの九重と写真の九重 福岡人間関係研究会「エンカウンター通信」, 116, 5-8.
16. 藤土圭三 1980 合宿研修報告: 合宿研修によせて 広島大学総合科学部「学生相談室活動報告書」, 5, 48-49.
17. 藤田裕司 1980 エンカウンター・グループにおける関係認知と自己概念の変化 大阪教育大学障害児教育研究紀要, 2, 81-92.
18. 藤田裕司 1981 エンカウンター・グループにおける自己概念の変化と関係認知 大阪教育大学障害児教育研究紀要, 3, 97-108.
19. 藤田裕司 1983 エンカウンター・グループにおける自己概念の変化と適応 大阪教育大学障害児教育研究紀要, 6, 55-61.
20. 福田憲明 1984 フォーカシングによる人格変化に関する研究 国際基督教大学卒業論文
21. 福井康之・小柳晴生 1980 エンカウンター・グループ経験の効果の測定について 相談学研究, 13(1), 1-8.
22. 福井康之 1981 自己実現と共感 愛媛大学公開講座「自己実現のための体験学習講座」資料
23. 福井康之 1984 討論の概要 第17回学生相談研究会「学生相談江の島シンポジウム報告書」, 24-29.
24. 福岡市教育センター 1982 子供の精神的健康を促す教育相談技法の適用に関する研究 福岡市教育センター昭和57年度研究報告書, 221.
25. 福岡市教育センター 1983 フォーカシングに関する実践研究—フォーカシングの学校への活用— 福岡市教育センター昭和58年度研究報告書, 236.
26. 福岡市教育センター 1984 フォーカシングに関する実践研究(その2)—学校での適用を求めて— 福岡市教育センター昭和59年度研究報告書, 253.
27. 学生相談研究会 1984 第17回学生相談シンポジウム報告書
28. 権藤直子 1982 エンカウンターグループの過程に関する研究—発言カテゴリー作成の試み 九州大学教育学部卒業論文
29. 浜崎武子 1982 「主体性を育てる合宿」に関する研究: 「合宿の目的について」[小グループのプロセス(Bグループ)]「グループの考察」日本女子大学カウンセリングセンター報告, 6, 4-10, & 22-27, & 30-36.
30. 浜崎武子 1983 はじめに・研究目的・まとめ「日本女子大学カウンセリングセンター報告『主体性を育てる合宿』に関する研究—その2」, 1, & 2, & 27-29.
31. 針塚 進 1980 ファシリテーター体験 山形大学保健管理センター「第5回人間関係を考える合宿セミナー報告書」, 15-16.
32. 針塚 進 1981 ファシリテーター体験(その2) 山形大学保健管理センター「第6回人間関係を考える合宿セミナー報告書」, 11-13.
33. 針塚 進 1982 ファシリテーター体験(その3) 山形大学保健管理センター「第7回『人間関係を考える合宿セミナー』報告書」, 12-15.
34. 長谷川貴生 1984 エンカウンター・グループにおける相互作用の研究 九州大学教育学部卒業論文
35. 畠瀬 稔 1983 心の健康と自己実現をはかるための集い—エンカウンター・グループを開催して— 京都女子大学学生相談室報告, 14, 3-9.
36. 畠瀬 稔 1984 エンカウンター・グループ経験が多数回参加者に及ぼす影響 京都女子大学教育学会「教育学科紀要」, 24, 25-37.
37. 畠瀬 稔 1984 エンカウンター・グループ経験における日米比較研究—ラホイア・プログラム参加者の追跡調査を通して 人間性心理学研究, 2, 79-97.
38. 樋口昌巳 1984 体験過程スケールによるエンカウンター・グループの過程分析の試み 九州大学教育学部卒業論文
39. 弘前大学学生相談室 1980 〈出会い〉と〈自己発見〉を求めて: グループ合宿報告書 弘前大学学生相談室報告(昭和50, 51, 52, 53年度)
40. 広田幸子 1982 フォーカシング場面における身体現象の研究 九州大学教育学部聴講生論文
41. 保坂 亨・岡村達也 1982 リーダーレス・エンカウンター・グループの記録(1981春夏) リーダーレス・エンカウンター・グループ研究会, 67-70 & 78-79.
42. 保坂 亨・岡村達也 1983 われわれのリーダーレス・エンカウンター・グループの軌跡 東

- 京大学教育学部心理教育相談室紀要, 6, 97-129.
43. 保坂 亨・岡村達也 1983 青年期 Peer Group としての Leaderless Encounter Group 臨床的グループ・アプローチ研究会「グループ・アプローチ」, 2, 5-18.
  44. 細野純子 1982 「第3回自己との出会いのためのグループ合宿」の企画とその経過・ファシリテーターの感想文: 第3回エンカウンターグループ合宿に参加して 愛知教育大学保健管理センター編「第3回『自己との出会いのためのグループ合宿』報告書」, 6-53, & 55-56.
  45. 細野純子 1983 「第4回自己との出会いのためのグループ合宿」の企画とその経過・ファシリテーターの感想文: 第4回グループ合宿に参加して 愛知教育大学保健管理センター編「第4回『自己との出会いのためのグループ合宿』報告書(昭和56年度)」, 2-4, & 36-37.
  46. 細野純子・佐藤勝利・中尾道子 1983 「第4回自己との出会いのためのグループ合宿」の経過報告とその検討 愛知教育大学保健管理センター編「第4回『自己との出会いのためのグループ合宿』報告書(昭和56年度)」, 5-35.
  47. 巖谷平三 1981 フォーカシングによる発見 都留春夫編 フォーカシング勉強会ノート(2) カウンセリング, 50, 22-23.
  48. 池田 栄 1982 自己の確立をめざす生徒指導—自己内の対話をうながす指導をととして— 昭和57年度名古屋市教育研究員中間報告書.
  49. 池見 陽 1980 フォーカシング—その由来と実際へのイントロダクション 九州大学教育学部心理教育相談室紀要, 6, 41-49.
  50. 池見 陽 1981 ヒューマニスティック心理学臨床的応用 交流分析研究, 6, 4-19.
  51. 池見 陽 1981 ジーン・ジェンドリンとの出会い 福岡人間関係研究会資料 No.10.
  52. 池見 陽 1983 フォーカシングの教え方: フォーカシングの応用の基礎的態度と技法についての考察 人間性心理学研究, 1, 74-85.
  53. 池見 陽 1984 海外ニュース—イメージとフォーカシング— フォーカシングフォーラム, 1(2), 6-7.
  54. 池見 陽・増井武士 1984 医学教育における人間尊重のための体験学習の試み—共感能力と他者への尊重能力の促進方法とその効果— 産業医科大学雑誌, 6(3), 265-271.
  55. 池之上茂樹 1982 フォーカシングにおけるからだの感じと生理的指標について 九州大学教育学部卒業論文
  56. 今泉紀嘉・丸岡武二・中島靖浩 1982 心因性緘黙児(小1女)の言語表出を促すための psychodrama の効果について 相談学研究, 14(2), 70-77.
  57. 井上澄子 1981 フォーカシングとの出会い カウンセリング, 50, 16-17.
  58. 井上澄子・川村玲子・白岩紘子 1984 東京フォーカシング研究会の歩み フォーカシングフォーラム, 1(1), 5-7.
  59. 伊藤義美 1980 カウンセリング過程への「焦点づけ技法」の適用の試み—登校拒否中学生への焦点づけの適用過程について— 名古屋大学教養部紀要B(自然科学・心理学), 24, 93-114.
  60. 伊藤義美・田畑 治 1980 体験過程療法と Focusing 技法—Focusing 技法の紹介と適用例— 東海相談学会会報, 13, 11.
  61. 岩井俊二・岸田 博・土田修緑 1980 教育相談からみた授業分析の一考察II 相談学研究, 13(1), 9-16.
  62. 岩村 聡 1981 グループ・ファシリテーターの自己表明について 広島大学保健管理センター「Phoenix-Health」, 16, 99-108.
  63. 岩村 聡 1981 合宿研修報告(エンカウンター・グループ): 行事の概要と評価・オーガナイザーの愚痴 広島大学総合科学部「学生相談室活動報告書」, 6, 41-42, & 45-46.
  64. 岩村 聡 1982 合宿研修報告(エンカウンター・グループ): 行事の概要と評価・マイルド・セブングループ(C) 広島大学総合科学部「学生母教室活動報告書」, 7, 37-38, & 44-45.
  65. 岩村 聡 1984 エンカウンター・グループ: 行事の概要と評価 広島大学総合科学部学生相談室「学生相談室活動報告書」, 8, 39-41.
  66. 岩村 聡・小柳晴生 1984 ファシリテーター発言分類法作成の試み 広島大学総合科学部紀要III, 8, 95-113.
  67. 亀石圭志 1981 エンカウンター・グループ: 12人いた 厚生省九州地方医務局主催「昭和56年度実習指導者(看護婦)講習会研究集録」, 7-10.
  68. 亀石圭志 1982 エンカウンター・グループ: 満足の感覚 厚生省九州地方医務局主催「昭和57年度実習指導者(看護婦)講習会研究集録」, 14-16.
  69. 亀石圭志 1983 エンカウンター・グループ:

- Cグループ 厚生省九州地方医務局主催「昭和57年度実習指導者（看護婦）講習会研究集録」, 15-17.
70. 亀石圭志・茂田みちえ・村山正治 1981 BASIC ENCOUNTER GROUP の発達過程に関する一考察—対集団魅力度の構造を手がかりとして— 九州大学教育学部紀要（教育心理学部門）, 25(2), 51-61.
71. 上月伸子 1981 集中的グループ経験における自己態度の変化に関する研究 国際基督教大学卒業論文
72. 加藤雄一 1982 ファシリテーターの感想文：セミナーについての感想の若干 名古屋大学学生相談室「第5回自己発見のための合宿セミナー」, 18-19.
73. 加藤雄一 1983 ファシリテーターの感想文：今年の合宿セミナーを振り返って 名古屋大学学生相談室「第6回自己発見のための合宿セミナー」, 13-14.
74. 川村玲子 1981 私にとってのフォーカシングの意味 カウンセリング, 50, 17-19.
75. 吉良安之 1983 フォーカシングの臨床的適用に関する研究—エッセンス・モデルの作成と事例の検討— 九州大学心理臨床研究, 2, 57-66.
76. 吉良安之 1984 体験過程の推進を促進する働きかけ—フォーカシング技法からみたエンパシーに関する考察— 心理臨床学研究, 2(1), 14-24.
77. 吉良安之 1984 生きられた身体のあり方に関する実証的研究—身体への注意集中時における身体意識の検討から— 人間性心理学研究, 2, 43-56.
78. 吉良安之・村山正治 1982 わが国におけるフォーカシング研究の歩みと今後の展望 九州大学教育学部紀要（教育心理学部門）, 27(2), 47-54.
79. 岸田 博 1982 焦点づけにおける沈黙 東京農業大学一般教育学術集報, 12, 23-36.
80. 岸田 博・中村喜久子 1982 ミニカウンセリングによるカウンセラー養成—カウンセラーの基本的態度体得のための一方法論— 東京農業大学一般教育学術集報, 12, 37-48.
81. 岸田 博・楡木満生・中村喜久子 1983 ミニカウンセリングによるカウンセラー養成—カウンセラーの基本的態度体得のための一方法論— 相談学研究, 16(1), 1-19.
82. 岸田 博・中村喜久子・広井法子・楡木満生 1982 ミニカウンセリングに関する基本的研究—カウンセラートレーニング法としてのミニカウンセリングの効果— 相談学研究, 14(2), 53-60.
83. 駒米勝利 1982 「主体性を育てる合宿」に関する研究：合宿の歴史・合宿の概要（受付・オリエンテーション・全体会）・小グループのプロセス（Cグループ） 日本女子大学カウンセリングセンター報告, 6, 1-3, & 13-18, & 27-30.
84. 駒米勝利 1983 合宿後の展開 日本女子大学カウンセリングセンター編『「主体性を育てる合宿」に関する研究—その2」, 17-27.
85. 駒米勝利 1984 Person-Centered Approach の意味を求めて 日本女子大学カウンセリングセンター報告書, 7, 14-20.
86. 駒米勝利・浜崎武子・尾崎かほる・高遠寿賀子 1982 「主体性を育てる合宿」に関する研究 日本女子大学カウンセリングセンター報告, 6, 1-39.
87. 小谷英文 1980 合宿研修報告：行事の概要と評価・Aグループ・総合的評価, 反省 広島大学総合科学部「学生相談室活動報告書」, 5, 31-40, & 47-48.
88. 小谷英文 1982 合宿研修報告（エンカウンター・グループ）：Bグループ雑感 広島大学総合科学部「学生母教室活動報告書」, 7, 42-43.
89. 小谷英文 1984 エンカウンター・グループ：Bグループのテープを聞き直して思うこと・Cグループのふり回り 広島大学総合科学部学生相談室「学生相談室活動報告書」, 8, 44-49.
90. 久保田功 1982 エンカウンター・グループのプロセスに関する研究 鹿児島大学法文学部卒業論文
91. 久保田功 1982 志賀島EGの思い出 厚生省九州地方医務局「昭和57年度実務指導者（看護婦）講習会研究集録」, 17-19.
92. 久保田功 1983 エンカウンター・グループにおけるグループ雰囲気形成過程についての実証的研究 九州大学教育学部聴講生論文
93. 久保田功 1983 言ってみること, 聞いてみること 福岡人間関係研究会「エンカウンター通信」, 132, 1-3.
94. 釘崎裕子 1982 フォーカシングの研究—Focusing Ability と創造能力との関連について— 九州大学教育学部卒業論文
95. 増田 実 1983 エンカウンター・グループ



- の立場から 相談学研究, 16(2), 39-41.
96. 増井武士 1981 催眠分析とイメージ心身イメージによる心の「整理」と「置いておくこと」について 催眠学研究, 26(1), 17-19.
  97. 増井武士・池見 陽・村山正治 1983 フォーカシング体験における前言語性とその点検の必要性ー“フォーカシングチェック”の試み 産業医科大学雑誌, 5(2), 243-248.
  98. 松下聡子 1983 エンカウンター・グループにおける共感過程についての考察ー共感カテゴリーの作成とその適用 九州大学教育学部卒業論文
  99. 宮崎伸一郎 1981 エンカウンター学習「はぐれもんグループ」 厚生省九州地方医務局「昭和56年度実務指導者(看護婦)講習会研究集録」, 10-14.
  100. 宮崎伸一郎 1983 看護学生エンカウンター・グループにおけるファシリテーションの方法に関する一考察 九州大学心理臨床研究, 2, 77-87.
  101. 宮沢秀次 1982 青年期における自己受容性測定スケールの検討 市邨学園大学短期大学人文科学研究会「人文科学論集」, 32, 113-139.
  102. 森崎康宣 1981 エンカウンター・グループ経験が自己主張に及ぼす影響の一考察 名古屋大学教育学部卒業論文
  103. 村上英治 1980 ファシリテーターの感想文: 菅島一さまざまな状況でのあるがままの私たち 名古屋大学学生相談室「第3回自己再発見のための合宿セミナー」, 14-16.
  104. 村上英治 1981 ファシリテーターの感想文: ころーかかわりあうために 名古屋大学学生相談室「第4回自己再発見のための合宿セミナー」, 16-18.
  105. 村上英治 1982 ファシリテーターの感想文: 今年また中津川で 名古屋大学学生相談室「第5回自己再発見のための合宿セミナー」, 20-21.
  106. 村上英治 1983 ファシリテーターの感想文: 「ふたたび夢科にて」 名古屋大学学生相談室「第6回自己再発見のための合宿セミナー」, 15-16.
  107. 村瀬孝雄 1984 「壺イメージ療法」の経験から学んだフォーカシング実践上の知恵 フォーカシングフォーラム, 1(1), 2-5.
  108. 村山正治 1980 フォーカシングの学習プログラム作成の試みーHinterkopf法を中心としてー 九州大学教育学部紀要(教育心理学部門), 25, 105-116.
  109. 村山正治 1981 学校精神衛生とカウンセリング 教育と医学, 29(4).
  110. 村山正治 1981 相互啓発・連帯, 相互援助をめざすセルフヘルプグループの展開 メンタルヘルス福岡, 2, 25-35.
  111. 村山正治 1981 大田論文に対するコメント 上智大学臨床心理研究, 5(1), 98-100.
  112. 村山正治 1981 プロセスフィードバック法の開発 九州大学教育学部紀要(教育心理学部門), 26(1), 131-140.
  113. 村山正治 1981 エンカウンター・グループ 厚生省九州地方医務局「昭和56年度実務指導者(看護婦)講習会研究集録」, 3-7.
  114. 村山正治 1982 福岡人間関係研究会の活動ーエンカウンターグループを媒介としたコミュニティの形成ー 九州大学教育学部紀要(教育心理学部門), 27(1), 61-69.
  115. 村山正治 1982 エンカウンター・グループによる青少年の連帯と共感の回復 福岡人間関係研究会「エンカウンター通信」, 121, 1-2.
  116. 村山正治 1982 エンカウンター・グループ 厚生省九州地方医務局「昭和57年度実務指導者(看護婦)講習会研究集録」, 3-7.
  117. 村山正治 1983 登校拒否とエンカウンターグループ サイコロジー, 42, 51-54.
  118. 村山正治 1983 心理療法とカウンセリングにおけるグループ・アプローチ 相談学研究, 16(1), 44-46.
  119. 村山正治 1983 エンカウンター・グループ 厚生省九州地方医務局「昭和58年度実務指導者(看護婦)講習会研究集録」, 5-8.
  120. 村山正治 1984 エンカウンターグループ 精神療法, 10(3), 227-233.
  121. 村山正治 1984 フォーカシング・フォーラム創刊にあたって フォーカシングフォーラム, 1(1), 1.
  122. 村山正治 1984 フォーカシングの教育への展開ー小学校での実践を中心にー フォーカシングフォーラム, 1(2), 1-4.
  123. 村山正治 1984 エンカウンター・グループの立場から 臨床的グループ・アプローチ研究会「グループ・アプローチ」, 3, 1-28.
  124. 村山正治・吉良安之 1984 わが国におけるフォーカシング研究の展望ー考えられる四つの実践形態ー カウンセリング, 61, 12-15.
  125. 村山正治・茂田みちえ 1982 日本におけ

- るフォーカシング文献 九州大学教育学部紀要 (教育心理学部門), 26(2), 121-128.
126. 村山正治・土川隆史 1982 グループアプローチと個人カウンセリング 福岡人間関係研究会「エンカウンター通信」, 115, 1-4.
  127. 村山正治・高山和雄・西田 拓・横手保幸・柳井克彦・友野裕香 1983 フォーカシングに関する実践研究 福岡市教育センター昭和57年度報告書, 247-258.
  128. 無藤清子 1984 ファシリテーターとしての模索—グループ研究会について 東京大学学生相談所紀要, 3, 35-39.
  129. 長野 剛 1982 透明な優しさへと反 E.G. 的断章—九重を終えて24日の今福岡人間関係研究会「エンカウンター通信」, 111, 2-5.
  130. 永田陽介 1984 佐人研フォーカシングの学習会あれこれ フォーカシングフォーラム, 1(2), 11-13.
  131. 名古屋大学学生相談室 1980 第3回自己再発見のための合宿セミナー
  132. 名古屋大学学生相談室 1981 第4回自己再発見のための合宿セミナー
  133. 名古屋大学学生相談室 1982 第5回自己再発見のための合宿セミナー
  134. 名古屋大学学生相談室 1983 第6回自己再発見のための合宿セミナー
  135. 中村俊夫 1980 第2回グループ臨床カンファランス: めかりBグループ 福岡人間関係研究会「エンカウンター通信」, 102, 4-6.
  136. 中尾道子 1982 ファシリテーターの感想文: 第3回エンカウンター・グループ合宿に参加して 愛知教育大学保健管理センター編「第3回『自己との出会いのためのグループ合宿』報告書」, 56-57.
  137. 中尾道子 1983 ファシリテーターの感想文: 第4回グループ合宿に参加して 愛知教育大学保健管理センター編「第4回『自己との出会いのためのグループ合宿』報告書」, 37-38.
  138. 中田行重 1983 フォーカシングにおける“からだの感じ”に伴う身体反応について—皮膚電気反射と心拍の変化を中心として— 九州大学教育学部卒業論文.
  139. 中田行重・村山正治 1984 クリアリングスペースについての生理学的研究 九州大学教育学部紀要 (教育心理学部門), 29(1), 109-115.
  140. 中山 巖 1982 ラホイア・プログラムを体験することの意義について—The La Jolla Program 1977 Summer Institute での参加体験— 佐賀大学教育学部研究論文集, 30(1), 297-311.
  141. 日本女子大学カウンセリングセンター 1983 「主体性を育てる合宿」に関する研究—その2
  142. 西川淳司 1983 現象学的心理学の研究—エンカウンター・グループの体験学習を中心として 駒沢大学大学院人文科学研究科修士論文
  143. 西岡文江 1983 フォーカシング学習におけるリスナーの役割—共に歩くことの意義 九州大学心理臨床研究, 2, 67-76.
  144. 新田泰生 1980 エンカウンター・グループにおける一メンバーの事例研究 宝仙学園短期大学紀要, 5, 75-96.
  145. 新田泰生 1981 非言語的技法を中心とするエンカウンター・グループの事例研究 宝仙学園短期大学紀要, 6, 55-68.
  146. 新田泰生 1982 エンカウンター・グループによる授業に関する基礎的研究 宝仙学園短期大学紀要, 7, 43-60.
  147. 野島一彦 1980 エンカウンター・グループにおけるファシリテーターの事例研究 久留米信愛女学院短期大学研究紀要, 3, 41-67.
  148. 野島一彦 1980 わが国の「集中的グループ経験」に関する文献リスト (1970~1980) 九州大学教育学部心理教育相談室紀要, 6, 69-93.
  149. 野島一彦 1980 ゲーム・エンカウンター・グループの事例研究 福岡大学人文論叢, 12(2), 419-454.
  150. 野島一彦 1980 エンカウンター・グループによる友だちづくり 教育心理, 28(10), 36-39.
  151. 野島一彦 1980 看護学生のエンカウンター・グループに関する研究 福岡大学人文論叢, 12(3), 635-672.
  152. 野島一彦 1981 エンカウンター・グループの過程に関する事例研究—発展段階の仮説の臨床的検討— 福岡大学人文論叢, 13(2), 285-324.
  153. 野島一彦 1981 エンカウンター・グループにおけるあるLow Learnerの事例研究 福岡大学人文論叢, 13(3), 583-618.
  154. 野島一彦 1982 エンカウンター・グループ・プロセス論 福岡大学人文論叢, 13(4), 891-928.
  155. 野島一彦 1982 わが国の「集中的グループ経験」に関する文献リスト (1981)—付: 同リ

- スト (1970～1980) の追録ー 九州大学心理臨床研究, 1, 87-95.
156. 野島一彦 1982 看護学校におけるエンカウンター・グループの事例研究 福岡大学人文論叢, 14(3), 695-731.
157. 野島一彦 1982 エンカウンター・グループ構成論 福岡大学人文論叢, 14(1), 1-32.
158. 野島一彦 1982 メンバーからみたエンカウンター・グループ経験の考察ー「セッション・アンケート」をもとにー 福岡大学人文論叢, 14(2), 409-449.
159. 野島一彦 1982 第3回グループ臨床カンファレンス報告 福岡人間関係研究会「エンカウンター通信」, 117, 1-2.
160. 野島一彦 1983 わが国の「集中的グループ経験」に関する文献リスト(～1969) ー付: グループ関係者(団体)名簿[1982年12月現在]ー 福岡大学人文論叢, 14(4), 1457-1479.
161. 野島一彦 1983 わが国の「集中的グループ経験」に関する文献リスト(1982) ー付: 同リスト(1970～1980)の追録ー 九州大学心理臨床研究, 2, 107-115.
162. 野島一彦 1983 日本における集中的グループ経験の「過程研究」展望(上)ー1962年～1983年6月ー 福岡大学人文論叢, 15(2), 389-428.
163. 野島一彦 1983 日本における集中的グループ経験の「過程研究」展望(下)ー1962年～1983年6月ー 福岡大学人文論叢, 15(3), 759-779.
164. 野島一彦 1983 エンカウンター・グループにおける個人過程ー概念化の試みー 福岡大学人文論叢, 15(1), 33-54.
165. 野島一彦 1983 ある Low Development Group の事例研究ー看護学生のエンカウンター・グループー 福岡大学人文論叢, 14(4), 1307-1345.
166. 野島一彦 1984 わが国の「集中的グループ経験」に関する文献リスト(1983) ー付: 同リスト[～1982]の追録およびグループ関係者(団体)名[1983年12月現在]ー 福岡大学人文論叢, 15(4), 1479-1515.
167. 野島一彦 1984 導入期をうまく経過できなかったエンカウンター・グループの事例研究ー動機づけが低い看護学生のグループー 福岡大学人文論叢, 15(4), 1223-1261.
168. 野島一彦 1984 ある Middle Development Group の事例研究ー動機づけが低い看護学生のエンカウンター・グループー 福岡大学人文論叢, 16(3), 995-1032.
169. 鉦鹿健吉 1984 ファシリテーターの Co-work について 第17回学生相談研究会議「学生相談江の島シンポジウム報告書」, 18-21.
170. 大石勝代 1980 グループ合宿思いつくまま 山形大学保健管理センター「第5回人間関係を考える合宿セミナー報告書(昭和54年)」, 17-18.
171. 大石勝代 1981 「私の中のふたり」 山形大学保健管理センター「第6回人間関係を考える合宿セミナー報告書」, 14-16.
172. 岡 昌之 1984 個人面接とグループ 第17回学生相談研究会議「学生相談江の島シンポジウム報告書」, 21-24.
173. 岡部耕典 1980 日本におけるエンカウンター・グループの可能性をめぐる一考察ーHuman Potential Movement を対照しながらー 東京大学教育学部教育相談室紀要, 3, 99-104.
174. 岡崎 章 1984 Focusing の高等学校への適用の試み 相談学研究, 17(1), 15-21.
175. 小野直広 1981 ファシリテーター苦戦の記 山形大学保健管理センター「第6回人間関係を考える合宿セミナー報告書」, 8-10.
176. 大貝 薫 1983 エンカウンター・グループにおける個人プロセスに関する一研究ーPersonal Orientation Inventory を手がかりとしてー 九州大学教育学部卒業論文
177. 大石勝代 1982 グループ合宿を終えて 山形大学保健管理センター「第7回『人間関係を考える合宿セミナー』報告書」
178. 大石勝代 1983 合宿セミナーの経過・グループのあれこれ 山形大学保健管理センター「第8回『人間関係を考える合宿セミナー』報告書」, 8-10, & 14-15.
179. 大石英史 1983 フォーカシングにおけるフェルトセンスについての一考察ーその3次元的理解の試みー 九州大学教育学部卒業論文
180. 大石英史・村山正治 1984 フォーカシングにおけるフェルト・センスーその3次元的理解の試みー 九州大学教育学部紀要(教育心理学部門), 29(1), 37-46.
181. 大重恵子 1981 合宿研修報告(エンカウンター・グループ): はじめてのコファシリテーター 広島大学総合科学部「学生相談室活動報告書」, 6, 44-45.
182. 大田民雄 1981 青年期分裂病圏患者へのフォーカシング技法の試み 上智大学臨床心理研究, 5, 88-97.

183. 大田民雄 1981 フォーカシングの新しい動向 福岡人間関係研究会「エンカウンター通信」, 112, 5-10.
184. 小柳晴生 1980 合宿研修報告: Cグループ 広島大学総合科学部「学生相談室活動報告書」, 5, 43-46.
185. 小柳晴生 1981 継続的オープン・グループの試みと学生に及ぼす影響について 広島大学保健管理センター「Phoenix-Health」, 16, 18-93.
186. 小柳晴生 1981 合宿研修報告(エンカウンター・グループ): エンカウンター・グループの思い出・断片-Aグループについて- 広島大学総合科学部「学生相談室活動報告書」, 6, 43-44.
187. 小柳晴生 1982 継続的オープン・グループの援助機能について-積極的モラトリアムの場としてのグループ- 広島大学保健管理センター「Phoenix-Health」, 18, 66-76.
188. 小柳晴生 1982 学生から見た継続的オープン・グループ-アンケート調査を中心に 広島大学保健管理センター編「Phoenix-Health」, 19, 115-125.
189. 小柳晴生 1982 合宿研修報告(エンカウンター・グループ): Aグループ・思い出すまま 広島大学総合科学部「学生相談室活動報告書」, 7, 39-41.
190. 小柳晴生 1984 エンカウンター・グループの現実的再検討(1)-ファシリテーターが年男と若男の場合 広島大学総合科学部学生相談室「学生相談室活動報告書」, 8, 13-17.
191. 尾崎かほる 1982 「主体性を育てる合宿」に関する研究: 合宿の計画・日程 日本女子大学カウンセリングセンター報告, 6, 10-13.
192. 尾崎かほる 1983 第5回「主体性を育てる合宿」の実践 日本女子大学カウンセリングセンター編「『主体性を育てる合宿』に関する研究-その2」, 3-17.
193. 尾崎かほる・高遠寿賀子 1982 「主体性を育てる合宿」に関する研究: 小グループのプロセス(Aグループ) 日本女子大学カウンセリングセンター報告, 6, 18-22.
194. 佐治守夫 1984 治療的面接における仮説と事実 心理臨床学研究, 1(2), 1-5.
195. 佐藤藤彰 1983 グループに参加して 山形大学保健管理センター「第8回『人間関係を考える合宿セミナー』報告書」, 11-13.
196. 佐藤勝利 1982 ファシリテーターの感想文: 第3回エンカウンターグループ合宿に参加して 愛知教育大学保健管理センター編「第3回『自己との出会いのためのグループ合宿』報告書(昭和55年度)」, 54-55.
197. 佐藤勝利 1983 ファシリテーターの感想文: 第4回グループ合宿に参加して 愛知教育大学保健管理センター編「第4回『自己との出会いのためのグループ合宿』報告書(昭和56年度)」, 36.
198. 佐藤勝利・細野純子・中尾道子 1980 「第2回自己との出会いのためのグループ合宿」の経過報告とその検討 愛知教育大学保健管理センター編「第2回『自己との出会いのためのグループ合宿』報告書(昭和54年度)」, 6-41.
199. 佐藤勝利・細野純子・中尾道子 1982 「第3回自己との出会いのためのグループ合宿」の経過報告とその検討 愛知教育大学保健管理センター編「第3回『自己との出会いのためのグループ合宿』報告書(昭和55年度)」, 6-53.
200. 沢崎達夫 1984 自己受容に関する文献的研究(1)-その概念と測定法について- 教育相談研究, 22, 59-67.
201. 沢崎達夫・真仁田昭・小玉正博 1981 青年期における自己認知と自己受容に関する研究(1) 教育相談研究, 19, 43-60.
202. 沢崎達夫・真仁田昭・小玉正博 1981 青年期における自己認知と自己受容に関する研究(2)-数量化理論第III類を用いて- 筑波大学学校教育部紀要, 3, 133-150.
203. 沢崎達夫・真仁田昭・小玉正博 1982 青年期における自己認知と自己受容に関する研究(3)-自己受容と性格・父母の養育態度等との関係について- 教育相談研究, 20, 59-73.
204. 茂田みちえ 1980 フォーカサー体験の一記録 九州大学教育学部心理教育相談室紀要, 6, 50-57.
205. 茂田みちえ 1980 エンカウンター・グループの過程分析の試み-発言カテゴリーの作製とその適用- 九州大学教育学部修士論文
206. 茂田みちえ 1982 フォーカシングの実例とその考察-リスナー体験を通して- 九州大学心理臨床研究, 1, 53-65.
207. 茂田みちえ 1982 フォーカシング・ステップの習得過程に関する一考察 九州大学大学院教育学研究科特選題目論文.
208. 茂田みちえ・村山正治 1980 エンカウンター・グループの過程分析の試み-発言カテゴリーの作成とその適用- 九州大学教育学部紀

- 要 (教育心理学部門), 25(1), 97-104.
209. 茂田みちえ・村山正治 1983 日本における「集中的グループ経験」の効果研究に関する文献集録—1979~1983および1971~1978の追録—九州大学教育学部紀要 (教育心理学部門), 28(1), 63-72.
210. 鹿内信善 1984 詩の教材解釈に対するフォーカシング技法の適用可能性 読書科学, 28(1), 8-16.
211. 鹿内信善 1984 詩の読みの指導に対するフォーカシング技法の適用 読書科学, 28(2), 71-80.
212. 清水信介 1981 第2回「人間関係の体験学習と自己理解のためのグループ合宿」実施報告 北海道大学保健管理センター「第2回人間関係の体験学習と自己理解のためのグループ合宿報告書」, 1-24.
213. 清水信介 1981 ある男子学生のエンカウンター・グループ体験 室蘭工業大学保健管理業績報告, 9, 1-15.
214. 下田節夫 1980 グループと私 山形大学保健管理センター「第5回人間関係を考える合宿セミナー報告書 (昭和54年)」, 9-14.
215. 申 栄治 1981 志賀島エンカウンター・グループを振り返って 厚生省九州地方医務局「昭和56年度実務指導者 (看護婦) 講習会研究集録」, 21-25.
216. 申 栄治 1982 エンカウンター・グループの一事例についての考察—ファシリテーター体験の明確化を中心として— 九州大学教育学部研究生論文
217. 申 栄治 1982 エンカウンター・グループ:Aグループ 厚生省九州地方医務局「昭和57年度実務指導者 (看護婦) 講習会研究集録」, 7-11.
218. 申 栄治 1983 エンカウンター・グループにおけるメンバーのファシリテーター関係認知目録の作成とその適用 九州大学教育学部聴講生論文
219. 申 栄治 1984 '83志賀島EG前後 福岡人間関係研究会「エンカウンター通信」, 134, 1-4.
220. 白岩紘子 1981 フォーカシングとの出会い カウンセリング, 50, 19-20.
221. 末広晃二 1980 「人間関係を考える合宿セミナー」の概要 山形大学保健管理センター「第5回人間関係を考える合宿セミナー報告書 (昭和54年)」, 2-8.
222. 末広晃二 1981 グループを終えて 山形大学保健管理センター「第6回人間関係を考える合宿セミナー報告書」, 17-19.
223. 末広晃二 1982 合宿セミナーの経過 山形大学保健管理センター「第7回『人間関係を考える合宿セミナー』報告書」, 8-11.
224. 末武康弘 1982 エンカウンター・グループの教育的意義に関する研究—精神的健康の促進の問題を中心として— 筑波大学人間学類卒業論文
225. 杉溪一言 1981 エンカウンターグループの課題 サイコロジ, 17, 28-35.
226. 田畑 治 1980 ファシリテーターの感想: 菅島でのグループ 名古屋大学学生相談室「第3回自己再発見のための合宿セミナー」, 17-19.
227. 田畑 治 1981 内的枠組から見た思春期登校拒否現象—カウンセリングとフォーカシング (焦点づけ) を手がかりとして— 東海相談学会会報, 14, 11.
228. 田畑 治 1981 ファシリテーターの感想: 中津川でのグループ 名古屋大学学生相談室「第4回自己再発見のための合宿セミナー」, 19-21.
229. 田畑 治 1982 治療面接—カウンセリング 教育と医学, 29(11), 37-43.
230. 田畑 治 1982 ファシリテーターの感想: 中津川でのグループ再び 名古屋大学学生相談室「第5回自己再発見のための合宿セミナー」, 22-25.
231. 田畑 治 1983 ファシリテーターの感想文: 懐しの寥々でのグループ合宿 名古屋大学学生相談室「第6回自己再発見のための合宿セミナー」, 17-20.
232. 多田治夫 1982 SD法によるエンカウンター・グループの評価 臨床心理学の諸領域 (金沢大学臨床心理学研究室紀要), 1, 29-32.
233. 高橋 功・岸田 博 1982 フォーカシング過程における生理反応パターンの研究 (1) 相談学研究, 14(2), 62-69.
234. 高橋泰子 1981 フォーカシングと私 カウンセリング, 50, 20-22.
235. 高橋佳子 1984 エンカウンター・グループの効果と対人イメージの変化 国際基督教大学修士論文
236. 高橋佳子 1984 エンカウンター・グループにおけるファシリテーターの介入—A女の変化を通じて— 臨床的グループ・アプローチ研究会「グループ・アプローチ」, 3, 25-30.

237. 高松 里 1981 エンカウンター・グループ：やんわりグループ 厚生省九州地方医務局「昭和56年度実務指導者（看護婦）講習会研究集録」, 18-21.
238. 高松 里 1982 エンカウンター・グループにおける体験内容目録の作成とその適用の試み 九州大学教育学部研究生論文
239. 高松 里 1982 エンカウンター・グループ：「看護婦さん」について思うこと 厚生省九州地方医務局「昭和57年度実務指導者（看護婦）講習会研究集録」, 21-14.
240. 高松 里 1983 私とエンカウンター・グループ(1)―初参加時の記憶 福岡人間関係研究会「エンカウンター通信」, 127, 1-2.
241. 高松 里 1983 私とエンカウンター・グループ(2)―初参加時の記憶 福岡人間関係研究会「エンカウンター通信」, 128, 12-13.
242. 高松 里 1983 エンカウンター・グループ：「12人に乾杯！」 厚生省九州地方医務局「昭和58年度実務指導者（看護婦）講習会研究集録」, 12-15.
243. 高松 里・村山正治 1984 エンカウンター・グループにおける体験内容と効果との関連について―「体験内容目録」の作成を通して― 九州大学教育学部紀要（教育心理学部門）, 29(1), 55-65.
244. 田中熊次郎 1983 心理療法とカウンセリングにおけるグループ・アプローチその必要性と今後の課題 相談学研究, 16(1), 37-39.
245. 手島茂樹 1980 Encounter Group の教育場面導入に関する基礎的研究 国際学院研究紀要, 1, 85-104.
246. 手島茂樹 1981 Encounter Group の教育場面導入に関する基礎的研究II 国際学院研究紀要, 2, 57-61.
247. 友杉美智子 1980 あるエンカウンター・グループの動き 東京都立大学「学生相談室レポート」, 8, 59-78.
248. 友杉美智子 1981 エンカウンター・グループ・プロセス研究―「人みしり」傾向のメンバーと“発言”を中心として 東京都立大学人文学部修士論文
249. 友杉美智子 1981 あるエンカウンター・グループの動き（その2）―グループ・プロセスと信頼の風土 東京都立大学「学生相談室レポート」, 9, 79-94.
250. 友杉美智子 1982 エンカウンター・グループ事例：グループ展開と自己愛パーソナリティのサイコダイナミクス 臨床的グループ・アプローチ研究会「グループ・アプローチ」, 1, 25-33.
251. 豊嶋秋彦 1980 出会いのためのグループ合宿―encounter group 概況と効果に関する考察― 弘前大学保健管理紀要, 4, 148-160.
252. 豊嶋秋彦 1980 〈出会い〉と〈自己発見〉を求めて―企画の意図とこれまでの軌跡・まとめ―参加動機との関連で 弘前大学学生相談室「〈出会い〉と〈自己発見〉を求めて：グループ合宿報告書（昭和50・51・52・53年度）」, 3-5, & 27-29.
253. 土川隆史 1980 再会ミーティングの概要・ファシリテーターの感想文：菅島での4泊5日の生活をふりかえって・総括と今後の問題 名古屋大学学生相談室「第3回自己再発見のための合宿セミナー」, 12-13, & 20-21, & 26-37.
254. 土川隆史 1981 再会ミーティングの概要・ファシリテーターの感想文：中津川での合宿セミナーについての私的な感想―一生の重みをからだでかんじたグループ・総括と展望 名古屋大学学生相談室「第4回自己発見のための合宿セミナー」, 13-15, & 22-23, & 41-43.
255. 土川隆史 1982 再会ミーティングの概要・ファシリテーターの感想文：中津川での合宿セミナーを振り返って・総括と展望 名古屋大学学生相談室「第5回自己発見のための合宿セミナー」, 14-16, & 26-27, & 40-42.
256. 土川隆史 1983 再会ミーティングの概要・ファシリテーターの感想文：寥科での合宿セミナーを振り返って・総括と展望 名古屋大学学生相談室「第6回自己再発見のための合宿セミナー」, 11-12, & 21-23, & 37-38.
257. 土川隆史・栗津幹子 1982 合宿セミナー実施の概要 名古屋大学学生相談室「第5回自己発見のための合宿セミナー」, 1-12.
258. 土川隆史・田畑洋子 1983 合宿セミナー実施の概要 名古屋大学学生相談室「第6回自己再発見のための合宿セミナー」, 1-10.
259. 土川隆史・渡辺直登 1980 合宿セミナー実施の概要 名古屋大学学生相談室「第3回自己再発見のための合宿セミナー」, 1-10.
260. 土川隆史・渡辺直登 1981 合宿セミナー実施の概要 名古屋大学学生相談室「第4回自己再発見のための合宿セミナー」, 1-11.
261. 都留春夫編 1980 フォーカシング勉強会ノート(1) カウンセリング, 48, 11-13.
262. 都留春夫編 1981 フォーカシング勉強会

- ノート(2)―私にとってのフォーカシング・カウンセリング, 50, 16-25.
263. 都留春夫 1982 あるグループ・プロセスの記録 臨床グループ・アプローチ研究会「グループ・アプローチ」, 1, 3-14.
264. 都留春夫 1984 このごろ感じていること フォーカシング・フォーラム, 1(2), 4-5.
265. 都留春夫 1984 体験過程アプローチ (シンポジウム: 心理臨床家にとっての治療理論) 心理臨床学研究, 1(2), 24-28.
266. 筒井健雄 1983 強迫神経症的なIさんとの面接―治療的な人格形成の過程― 相談学研究, 15(2), 75-83.
267. 筒井健雄 1984 人間科学(XXI)―フォーカシングの治療的意味について― 信州大学教育学部紀要, 51, 71-79.
268. 上嶋洋一 1984 Gendlin, E. T. の「体験過程 (experiencing)」論―パーソナリティ変容における「体験的応答 (experiential response)」の役割― 筑波大学大学院博士課程教育学研究科「教育学研究集録」, 8.
269. 梅村正俊 1983 狂気と驚喜の世界体験記 山形大学保健管理センター「第8回『人間関係を考える合宿セミナー』報告書」, 24-26.
270. 宇佐神潔 1982 エンカウンター・グループ: Eグループの旅 厚生省九州地方医務局「昭和57年度実務指導者(看護婦)講習会研究集録」, 20-23.
271. 宇佐神潔 1983 エンカウンター・グループ: Eグループの旅 厚生省九州地方医務局「昭和58年度実務指導者(看護婦)講習会研究集録」, 20-23.
272. 宇佐神潔 1984 心と心の会話 福岡人間関係研究会「エンカウンター通信」, 140, 7-10.
273. 宇田川一夫 1981 エンカウンター・グループにおける自己概念の変化の研究―集中的グループ体験者群と初体験者群の比較― 相談学研究, 13(2), 62-69.
274. 山田俊介 1984 エンカウンター・グループ: Aグループの経過と想起すること 広島大学総合科学部学生相談室「学生相談室活動報告書」, 8, 42-44.
275. 山田俊介・上地安昭・小柳晴生 1983 大学生にとってのエンカウンター・グループ―「昭和57年度人間関係と自己理解のためのグループ合宿」から 広島大学保健管理センター編「Phoenix-Health」, 22, 71-89.
276. 山形大学保健管理センター 1980 第5回人間関係を考える合宿セミナー報告
277. 山形大学保健管理センター 1981 第6回人間関係を考える合宿セミナー報告
278. 山形大学保健管理センター 1982 第7回人間関係を考える合宿セミナー報告
279. 山形大学保健管理センター 1983 第8回人間関係を考える合宿セミナー報告
280. 山口祐二 1981 エンカウンター・グループ: 思いながら, 歩きながら―ミッキー・チョキチョキマウス 厚生省九州地方医務局「昭和56年度実務指導者(看護婦)講習会研究集録」, 4-18.
281. 山口祐二 1982 ファシリテーター論の試み―臨床教育EGを通じて― 九州大学心理臨床研究, 1, 75-85.
282. 山本銀次 1981 学生中心のグループ活動と参加意欲性 東海大学紀要学生生活研究所, 11, 17-33.
283. 山本銀次 1982 学生中心のグループ活動における気づきの検討 東海大学学生相談室報告, 6, 41-58.
284. 山谷洋二 1980 合宿研修報告(自己探求と豊かな人間関係開発のセミナー): Bグループ 広島大学総合科学部「学生相談室活動報告書」, 5, 41-43.
285. 吉松聡子 1984 エンカウンター・グループで生じる心理的損傷感についての一考察 九州大学教育学部卒業論文

### III. 学会発表

1. 阿部啓子 1982 改定 P.O.I. による Encounter Group の効果測定の試み 日本心理学会第46回大会予稿集, 382.
2. 安部恒久 1980 看護学校におけるグループ経験の意義 日本心理学会第44回大会発表論文集, 641.
3. 安部恒久 1982 登校拒否をもつ母親に対するグループ・アプローチ 第3回ヒューマニスティック心理学研究会プログラム・抄録集, 30-31.
4. 安部恒久 1982 集中的グループ経験におけるファシリテーター研究の展望 日本心理学会第46回大会予稿集, 387.
5. 足立明久 1982 集中的グループ経験と心理的風土: 自己概念の構造と変化 日本心理学会第46回大会予稿集, 382.

6. 学生相談研究会議 1982 教官エンカウンター・グループ体験と問題 第15回学生相談研究会フォーラム  
司会（福井康之・石郷岡泰）  
話題提供者（無藤清子）
7. 畠瀬 稔 1980 エンカウンター・グループ経験による教師の対人能力の促進に関する研究 日本心理学会第44回大会発表論文集, 642.
8. 畠瀬 稔 1981 エンカウンター・グループ経験による教師の対人能力の促進に関する研究(II) 日本心理学会第45回大会発表論文集, 657.
9. 畠瀬直子 1980 エンカウンター・グループの心理的成長促進機能の研究(2) 日本心理学会第44回大会発表論文集, 638.
10. 畠瀬直子 1981 心理治療手段としてのエンカウンター・グループ研究 日本心理学会第45回大会発表論文集, 656.
11. 畠瀬直子 1984 人間関係研究会のエンカウンター・グループ 日本人間性心理学会第3回大会発表論文集, 20-21.
12. 保坂 亨・岡村達也 1984 キャンパス・エンカウンター・グループの位置づけ 日本心理臨床学会第3回大会発表論文集, 150-151.
13. 保坂 亨・三浦和夫・高橋佳子・宮城 徹・海老沢薫 1983 参加メンバーによるエンカウンター・グループの事例研究(1) 発言分析によるグループ・プロセスの比較 日本心理学会第47回大会発表論文集, 702.
14. 細野純子・渡辺久雄・佐藤勝利・中尾道子 1983 エンカウンター・グループを契機として展開を示した事例について 第21回全国大学保健管理研究集会発表原稿資料
15. 池見 陽 1982 ジェンドリン法によるフォーカシングの研究—Structure-Boundの観点から— 日本心理学会第46回大会発表論文集, 386.
16. 池見 陽 1983 フォーカシングの教え方：基礎的条件の考察 日本心理学会第47回大会発表論文集, 740.
17. 池見 陽・吉良安之・村山正治 1984 フォーカシングにおける体験過程の評定：EXPスケールの研究(その1) 日本心理学会第48回大会発表論文集, 787.
18. 井上澄子・川村玲子・白岩紘子 1984 Focusingによる成長過程の一事例 日本応用心理学会第51回大会発表論文集.
19. 伊藤義美 1980 カウンセリング過程へのフォーカシング技法の適用(IV) 日本心理学会第44回大会発表論文集, 636.
20. 伊藤義美 1980 ある登校拒否中学生との取り組み—「黄金の日々よ今一度！」(宅訪・夢・来談・フォーカシング)— 1980年度心理臨床家の集いプログラム, 13.
21. 伊藤義美 1981 「学生」のためのエンカウンター・グループの事例—「箱根方式」の試み 昭和56年度心理臨床全国研究集会プログラム・症例研究発表論文抄録集, 34-35.
22. 吉良安之 1983 フォーカシング技法からみた〈共感すること〉と〈見守ること〉 日本心理学会第47回大会発表論文集, 741.
23. 吉良安之・池見 陽・村山正治 1984 フォーカシングにおける体験過程の評定：EXPスケールの研究(そのII) 日本心理学会第48回大会発表論文集, 787.
24. 岸田 博・高橋 功 1981 フォーカシング過程における生理反応パターンの研究(1) 日本相談学会第14回大会発表論文集, 34-35.
25. 岸田 博・楡木満生・中村喜久子 1982 ミニカウンセリングによるカウンセラー養成(5) —カウンセラーの基本的態度体得のための一方論— 日本相談学会第15回大会発表論文集, 27-28.
26. 岸田 博・飯塚銀次・清水幹夫 1980 フォーカシングにおける沈黙(3)—成功への沈黙の時間配分と休憩の効果— 日本相談学会第13回大会発表論文集, 38-39.
27. 小谷英文 1981 Encounter GroupとTherapy Group—技法論体系の試みへのワンステップ 日本心理学会第45回大会アーベント「グループ・アプローチのタベ」の話題提供
28. 久保田順子 1983 Familiar Groupにおける諸問題に関する一考察—ファシリテーターの関わりを通して— 日本心理学会第47回大会発表論文集, 699.
29. 増田 実 1982 エンカウンター・グループの立場から 日本相談学会第15回大会シンポジウム：心理療法とカウンセリングにおけるグループアプローチ
30. 増井武士 1982 心身イメージを用いた「間をおくこと」と「置いておくこと」の心理療法の試み 第28回日本催眠医学心理学会発表抄録集, 1, 6.
31. 増井武士 1982 Focusingの臨床適用に関する一考察—適用 Index としての Structure bound, unbound— 日本心理学会第46回大会発表論集, 385.
32. 松浦光和・清水幹夫 1983 集中的グループ



- 経験における自己意識の研究(3)―調査用テストの作成(III)― 日本教育心理学会第25回総会
33. 松浦光和・清水幹夫 1984 集中的グループ経験における自己意識の研究(4) 日本教育心理学会第26回総会
34. 松浦光和・清水幹夫・鈴木順一・大塚秀治 1981 集中的グループ経験における自己意識の研究(2)―調査用テストの作成(2) 日本教育心理学会第23回総会
35. 三浦和夫・保坂 亨・高橋佳子・宮城 徹・海老沢薫 1983 参加メンバーによるエンカウンター・グループの事例研究―(2)セッション外の動きについて― 日本心理学会第47回大会発表論文集, 703.
36. 深山富男 1982 授業として行なうエンカウンターグループの試み 第3回ヒューマニスティック心理学研究会プログラム・抄録集, 32-33.
37. 森崎康宣 1983 エンカウンター・グループ体験が自己主張に及ぼす影響 日本心理学会第47回大会発表論文集, 700.
38. 森崎康宣 1984 エンカウンター・グループ参加者への追跡調査―グループ合宿後, 展開したメンバー交流の一事例― 日本心理学会第48回大会発表論文集, 789.
39. 村山正治 1980 エンカウンター・グループの過程でフォーカシングを導入した一事例 日本心理学会第44回大会論文集, 637.
40. 村山正治 1982 フォーカシング体験の評価―フォーカシング・チェックの作成― 日本心理学会第46回大会発表論文集, 386.
41. 村山正治 1982 福岡人間関係研究会の活動―エンカウンターグループを媒介としたコミュニティの形成 第3回ヒューマニスティック心理学研究会プログラム・抄録集, 36-37.
42. 村山正治 1984 プレイセラピストの訓練にフォーカシングを適用した1事例 日本心理学会第48回大会発表論文集, 788.
43. 村山正治 1984 青年期危機の理論的基礎―自己理論及びエンカウンター・グループからの接近― 日本心理学会第48回大会発表論文集, S51.
44. 村山正治・吉良安之 1983 わが国におけるフォーカシング研究の展望 第2回日本人間性心理学会大会プログラム論文集, 38-39.
45. 新田泰生・内田正博 1980 集中的グループ経験の事例研究 日本応用心理学会第47回大会発表論文集.
46. 野島一彦 1981 エンカウンター・グループの過程に関する事例研究 日本心理学会第45回大会論文集, 655.
47. 野島一彦 1982 個人療法とグループアプローチ 日本心理臨床学会第1回大会交流の広場
48. 野島一彦 1982 エンカウンター・グループ構造論 日本心理学会第46回大会予稿集, 383.
49. 野島一彦 1982 看護学生のエンカウンター・グループ事例 日本心理臨床学会第1回大会事例研究発表論文集抄録集, 86-87.
50. 野島一彦 1983 エンカウンター・グループにおける個人過程 日本心理学会第47回大会発表論文集, 701.
51. 野島一彦 1984 グループ・ファシリテーターの養成をめぐる一福人研・九大を中心として― 日本心理臨床学会第3回大会発表論文集, 53.
52. 野島一彦・安部恒久 1984 グループ・ファシリテーターの養成をめぐる―シンポジウム企画にあたって― 日本心理臨床学会第3回大会発表論文集, 49.
53. 大田民雄 1981 精神分裂病者へのフォーカシング適用方法 日本心理学会第45回大会発表論文集, 671.
54. 大田民雄 1982 心理療法の面接の中でのフォーカシングの導入方法 日本心理学会第46回大会発表論文集, 386.
55. 大田民雄 1983 フォーカシング教示の難点 日本心理学会第47回大会発表論文集, 743.
56. 岡 昌之 1982 個人カウンセリングからみたグループアプローチの効用と限界 第15回学生相談研究会フォーラム
57. 大島啓利 1984 Focusing Ability と Personality 中国四国心理学会論文集, 17, 73.
58. 小柳晴生 1982 継続的オープングループの援助機能について 第15回学生相談研究会フォーラム
59. 小柳晴生 1983 継続的オープン・グループの実際―その意義と限界― 日本人間性心理学会第2回大会プログラム・論文集, 36-37.
60. 佐藤勝利・細野純子 1983 大学におけるエンカウンター・グループの実践とその検討 日本心理臨床学会第2回大会発表論文集, 10-11.
61. 茂田みちえ 1980 エンカウンター・グループの過程分析の試み―発言カテゴリーの作製とその適用― 日本心理学会第44回大会発表論文集, 640.
62. 茂田みちえ 1982 フォーカシングの実際例とその考察―felt senseの形成と展開をめぐる

- てー 日本心理学会第46回大会予稿集, 385.
63. 清水幹夫・松浦光和・鈴木順一・坂原 明  
1981 集中的グループ経験における自己意識の研究(1)一調査用テストの作成(1) 日本教育心理学会第23回総会
64. 白岩紘子・井上澄子・川村玲子 1984 Focusingのインストラクションについての一考察 日本応用心理学会第51回大会発表論文集
65. 末武康弘 1984 「自己実現スケール」の採点法の検討とエンカウンター・グループの効果の測定について 日本相談学会第17回大会発表論文集, 46-47.
66. 鈴木順一・清水幹夫・松浦光和・上林 充  
1981 集中的グループ経験における自己意識の研究(1)一エンカウンター・グループ参加者間の心理的距離の変化 日本心理学会第45回大会発表論文集, 654.
67. 田畑 治 1980 カウンセリング過程へのフォーカシング技法の適用(III) 日本心理学会第44回大会発表論文集, 635.
68. 田畑 治 1981 ミニ試行カウンセリングについて 東海相談学会第13回総会研究発表大会
69. 田畑 治 1983 フォーカシングを適用した仮面うつ病婦人の心理治療過程 日本心理学会第47回大会発表論文集, 742.
70. 高橋佳子・保坂 亨・三浦和夫・宮城 徹・海老沢薫 1983 参加メンバーによるエンカウンター・グループの事例研究(3)ファシリテーターおよびグループ内の対人関係の着席行動への影響一 日本心理学会第47回大会発表論文集, 704.
71. 土川隆史 1982 グループ・アプローチと個人カウンセリングの使い分け一事例を通しての検討 第15回学生相談研究会フォーラム
72. 筒井健雄 1983 科学的存在観からみたフェルト・シフト 日本心理臨床学会第2回大会発表論文集, 86-87.
3. Gendlin, E.T. 1961 Experiencing: A Variable in the Process of Therapeutic Change. *American Journal of Psychotherapy*, 15, 233-245. (村瀬孝雄訳 1981 体験過程一治療による変化における一変数「体験過程と心理療法」ナツメ社, I-2, 19-38.)
4. Gendlin, E.T. 1961 Subverbal Communication and Therapist Expressivity: Trends in Client-Centered Psychotherapy with Schizophrenics. *Discussion Papers, Wisconsin Psychiatric Institute*, 17. (村瀬孝雄訳 1981 言語下のコミュニケーションと治療者の自己表明性一分裂病者との来談者中心の心理療法におけるすう勢一「体験過程と心理療法」ナツメ社, II-3, 190-206.)
5. Gendlin, E.T. 1962 Some Proposals on Psychotherapy Training. *Discussion Papers, Wisconsin Psychiatric Institute*, 37. (村瀬孝雄訳 1981 心理療法訓練についての提案「体験過程と心理療法」ナツメ社, II-3, 190-206.)
6. Gendlin, E.T. 1964 A Theory of Personality Change. In Worche, P. & Byrne, D. (Eds.), *Personality Change*, John Wiley, 100-148. (村瀬孝雄訳 1981 人格変化の理論「体験過程と心理療法」ナツメ社, I-3, 39-157.)
7. Gendlin, E.T. 1964 Schizophrenia: Problem and Methods of Psychotherapy. *Review of Existential Psychology and Psychiatry*, IV, 168-179. (村瀬孝雄訳 1981 精神分裂病一心理療法の問題と方法「体験過程と心理療法」ナツメ社, II-1, 161-181.)
8. Gendlin, E.T. 1978 *Focusing*. Bantam Books. (村山正治・都留春夫・村瀬孝雄訳 1982 フォーカシング 福村出版)
- 第1部 からだの知恵の解放
- 1章 内的行為
- 2章 変化
- 3章 からだが知っていること
- 第2部 フォーカシング
- 4章 フォーカシングの手引き
- 5章 フォーカシングの6つの動きとその意味
- 6章 フォーカシングでないのは
- 7章 自分のために空間をつくる
- 8章 フェルトセンスが見つからないときは
- 9章 何もシフトしないときは

#### IV. 翻 訳

1. Aspy, D., & Roebuck, F. (畠瀬 稔監訳 金沢カウンセリンググループ訳) 1980 エデュケーション 関西カウンセリングセンター
2. Garfield, S.L. 1980 *Psychotherapy: An Eclectic Approach*. John Wiley & Sons Inc. (高橋雅春・高橋依子共訳 1985 来談者中心の立場「心理療法一統合的アプローチ」ナカニシヤ出版, 第2章, 29-31.)

- 第3部 お互いに援助し合うために  
 10章 他人に豊かさを見つけること  
 11章 リスニング（傾聴）の手引き
- 第4部 フォーカシングと社会  
 12章 新しい人間関係  
 13章 役割を超える体験
9. Gendlin, E. T. 1981 Focusing Check (増井武士・池見 陽・村山正治訳 フォーカシングチェックの試み 福岡人間関係研究会資料 No.11)
10. Hayashi, W. (池見 陽編訳) 1984 シカゴにおけるフォーカシングのワークショップと体験的心理療法の動向—Dr. William Hayashi とのインタビュー— フォーカシング・フォーラム, 1, 8-10.
11. Korchin, S. J. (近藤邦夫訳) 1980 種々のエンカウンター・グループ—正常者のための集団療法 村瀬孝雄監訳「現代臨床心理学」弘文堂, 539-560.
12. Rogers, C. R. 1964 Toward a Science of the Person. In Wann, T. W. (Ed.) Behaviorism and Phenomenology. the university of Chicago Press. (村山正治訳 1980 人間の科学をめざして 村山正治編訳「行動主義と現象学」岩崎学術出版社, 161-204.)
13. Rogers, C. R. 1970 Carl Rogers on Encounter Groups. Harper & Row. (畠瀬 稔・畠瀬直子 訳 1982 エンカウンター・グループ—人間信頼の原点— 創元社)<sup>注3</sup>
14. Rogers, C. R. 1972 Becoming Partners: Marriages and its Alternatives. Delacorte Press. (村山正治・村山尚子訳 1982「結婚革命」サイマル出版会)  
 1章 結婚すべきか  
 2章 同棲から結婚へ  
 3章 ナウな結婚  
 4章 結婚・離婚・再婚  
 5章 黒人と白人との結婚  
 6章 人間関係と性関係の実験場  
 7章 ある結婚, 15年間の出来事  
 8章 豊かな結婚生活のために  
 9章 新しいパートナーシップ
15. Rogers, C. R. 1977 Carl Rogers on Personal Power. Delacorte Press. (畠瀬 稔・畠瀬直子訳 1980「人間の潜在力—個人尊重のアプローチ」創元社)
- I 静かな革命—人間中心のアプローチの衝撃—  
 第一章 援助専門職の政治  
 第二章 新しい家族と古い家族  
 第三章 結婚とパートナーシップの革命  
 第四章 権力か人間か—教育の二動向—  
 第五章 経営の政治  
 第六章 人間中心のアプローチと抑圧された人々  
 第七章 異文化間の緊張解決—その端緒を開く—
- II 人間中心のアプローチの実践  
 第八章 パースン・センタード・ワークショップの計画と成果  
 第九章 権力否定のもつ力  
 第十章 人は嫉妬から自由でありうるか?
- III 理論的基盤を求めて  
 第十一章 政治の基底としての自己実現志向性
- IV 新しい政治形態  
 第十二章 新しく台頭する人々—静かな革命の先覚者たち—
- V 結び  
 第十三章 終わりに
16. Rogers, C. R. (村山正治訳) 1983 パーソナリティの体制化に関する観察 Hilgard, E. R. (Ed.) (成瀬悟策監訳)「アメリカ心理学史」誠信書房, 第21章, 519-541.
17. Rogers, C. R. 1980 A WAY OF BEING Houghton Mifflin. (畠瀬直子監訳 1984「人間尊重の心理学—わが人生と思想を語る—」創元社)  
 第一部 経験による気づきと展望  
 第一章 コミュニケーションの意味  
 第二章 対人関係論の芽ばえと発展  
 第三章 四十六年を回顧して  
 第四章 “老い”と成長  
 第五章 “唯一”の現実が必要か?  
 第二部 人間中心アプローチの諸側面  
 第六章 人間中心アプローチの形成  
 第七章 共感—実存を外側から眺めない係わり方  
 第八章 エレン・ウェスト—その孤独  
 第九章 人間中心のコミュニティーを求めて—未来の課題  
 第十章 六つのエピソード  
 第十一章 援助的職業への新しい挑戦

注3 1973年にダイヤモンド社から出版された書籍の新装版。目次は初版を掲載した文献リストを参照すること。

### 第三部 教育のプロセス, その未来

第十二章 知性と感性を共に育てる学習は可能か

第十三章 分水嶺を越えてからの目標

第十四章 大グループでの学習—未来への示唆

### 第四部 人間尊重主義の未来

第十五章 未来の世界, 未来の人間

18. Rogers, C.R. 1983 *Freedom to Learn for the 80's*. Bell & Howell Company. (友田不二男監訳 1984 自由の教室 (新・創造への教育1 岩崎学術出版社, 伊東 博監訳 1984 人間中心の教師 (新・創造への教育2) 岩崎学術出版社, 友田不二男監訳 1985 教育への挑戦 (新・創造への教育3) 岩崎学術出版社)

### 第I部 困難と好機

第1章 教育への挑戦

第2章 教師として, 自分のまま振る舞えるか?

### 第II部 自由と教育—教室における責任ある自由—

第3章 小学校6年生の教師の実験

第4章 高校のフランス語教師—教師は生徒とともに育つ—

第5章 大学における異例な科学の講座

第6章 自由を促進している人々

### 第III部 人間中心の教師になる

第7章 学習を促進する対人関係

第8章 学習促進者になる

第9章 自由を確立する諸方法

第10章 人間中心の教師の育成

第11章 教育の政治学

### 第IV部 実証された事実

第12章 教育における人間中心の論点に関する実証的研究

### 第V部 教育改革における失望

第13章 失敗のパターン

### 第VI部 分裂している哲学と価値観

第14章 価値づける過程への現代的なアプローチ

第15章 自由と委託

第16章 目標:十分に機能している人間

### 第VII部 敢えて挑戦しますか?

第17章 2, 3の反省

19. Schultz, D. 1977 *GROWTH PSYCHOLOGY: Models of the Healthy Personality*. Litton Educational Publishing. (上田吉一監訳 1982 完全に機能している人間—ロジャースのモデル—「健康な人格—人間の可能性と七つのモデル—」川島書店, 第三部, 41-65.)

20. Shostrom, E.L. (ed.) 1965 *Three approaches to psychotherapy*. Three 16mm color motion pictures. Psychological Films. (佐治守夫・平木典子・都留春夫訳 1980 グロリアと3人のセラピスト 日本・精神技術研究所 ビデオとトランスクリプト)

21. van den Berg, J.H (早坂泰次郎・矢崎妙子訳) 1984 非指示的精神療法 「日常性の精神医学—写真と症例による招待—」川島書店, 219-221.

### V. 海外文献紹介

(該当文献なし)

### VI. 書 評

1. 村山正治 1984「村瀬孝雄・野村東助・山本和郎編 1984『心理臨床の探究—ロジャースからの出立—』有斐閣」心理臨床学研究, 2(1), 71-78.

### お 願 い

リストに収録した文献の記述上の誤りを見つめられた方、また、該当する文献を執筆された方、もれている文献を御存知の方は、筆者まで御連絡願えれば幸いです。

連絡先 〒811-4192 福岡県宗像市赤間729-1  
福岡教育大学教育学部 坂中正義  
E-mail: sakanaka@fukuoka-edu.ac.jp  
Tel: 0940-35-1482 Fax: 0940-34-1012